科目ナンバリング	U-LAS20 10001 SB48						
授業科目名<英訳>	英語リーディング ER66 1A1 English Reading			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 辻田　明子		
群	外国語科目群		分野(分類)		使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金4	配当学年	１回生	対象学生	全学向

[技能領域]

アカデミックリーディング

[授業の概要・目的]

本講義では、高校までに習得した基礎的な英語力を基盤とし、大学での研究活動に不可欠な「アカデミック・リーディング」の技法を習得する。単に英文を和訳するのではなく、論文特有の論理構成を把握したうえで、筆者の主張を的確に読み取る読解力を高める。

以下の3つのステップを通じて英語運用能力の向上を目指す。

１．構造的読解: パラグラフ・ライティングの概念を理解し、英文の骨組みを捉える。
２．グループワーク: 仲間と協力して社会・文化・科学など、多様なトピックを含む英文を読み解き、背景知識を補い合いながら内容への理解を深める。
３．情報の再構築と発信: 読み取った内容を論理的に要約し、他者に分かりやすく伝えるプロセスを通じて、アウトプットを意識した精読を実践する。

[到達目標]

１．英文の論理構造を把握し、各パラグラフの主旨を正確に読み取ることができる。
２．グループ内でのディスカッションを通じて、背景知識や未知の語彙を補い合い、英文の内容を多角的に理解できる。
３．読解した内容を論理的に整理し、第三者に分かりやすく伝えるための要約文や資料を作成できる。

[授業計画と内容]

第1回　イントロダクション
授業の進め方を説明する。第5回以降のグループ分けを行う。
第2回～第4回
講師が指定する読み物を精読し、学術論文の構造やクラスメートとの協働に慣れる。
第5回～第13回
数名のグループごとに1本の学術論文を読み、著者の主張をまとめて発表してもらう。詳細は第1回のイントロダクションで説明する。
第14回　まとめ
第15回　期末試験
第16回　フィードバック

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

以下のような観点から、総合的に評価する。

英語リーディング ER66(2)へ続く↓↓↓

英語リーディング ER66(2)

授業内課題・課題発表　50%
小テスト　10%
授業への参加状況　10%
期末試験　30%

ただし、5回以上授業を欠席した場合は成績評価の対象としない。

[教科書]

京都大学英語学術語彙研究グループ他 『京大学術語彙データベース基本英単語1110』（研究社）
ISBN:9784327452216
その他、必要な資料はLMSのリソースに入れる。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

この授業では、グループ活動を行うため、初回の授業は必ず出席すること。
やむを得ない理由で初回を欠席する場合は、第2回もしくは第3回に出席し、担当講師の指示に従うこと。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]